
2018年3月4日(日) 国崎 大アジ釣り 功成丸
大潮:旧1/17 干潮 01:21(2cm) 満潮 07:36(202cm) 干潮 13:37(34cm) 鳥羽
アジ 大37cm 1尾 アベレージ25cm 26尾 豆アジ 15尾

4時50分 現地着	11時20分 納竿 沖上がり
5時30分 釣り座抽選	13時37分 干潮 (鳥羽34cm)
6時00分 出船	
7時36分 満潮 (鳥羽202cm)	魚処理2時間

【料金】 乗り合い 8,000円 仕掛け、氷付き 釣り座は抽選 掛かり釣り

【仕掛け】 電動リール 竿受け 魚を絞めるためゴム手袋
竿 YOIKA BB (自分) ライトゲーム モデラート(ツレ)
おもり 80号持参 100号船上で購入(¥300×2) 150号借用
仕掛け・氷 サービス クーラーボックスは25リットルでよい
3本針 幹・ハリス2.5号 枝40cmくらい 全長3mくらい サビキ仕掛け
ラークかごを持って行ったら、「調整がむずかしいよ」と言われた。使用せず
持参した青色のかご(少し大きめ)を使用した。

【様子】

- 晴れ、風は少々。酔い止めを飲んだが、釣り座がみよしで、しばらくして気持ち悪くなった。
- 釣り座は8番くじ(どべ)を引いた。左舷みよし(自分)と一つ手前(ツレ)となった。

<前半> おもり100号

- 「リールの水深が合っていないかもしれないから、一度、底まで落として。」とアナウンス
- 「水深40m、底から5mくらい。」 「竿をあおったら、1~2m巻き上げて、誘ってください。」
- 豆アジが中心だった。

<後半> おもり150号

- 場所移動となった。潮がきいている。おもり150号に変更。持っていない人は船長から借用
- 「棚は底から5~10m」とアナウンス
- 糸が斜めに入っていく。リールカウンタでは水深80m。
- 「潮がきいていて糸が斜めに入っていくこと、棚が底から5~10mであること、仕掛けが約3mあること、毎回底まで落とすと撒き餌がなくなること」から、底から10m上(リールカウンタで70m)で止めて、そこから誘いをかけることにした。これが良かった。これで当たりがあったので繰り返した。この棚で釣った。アベレージサイズが良く掛かった。
- しばらく待って、撒き餌がなくなっているだろうというころでも、誘いを掛けると掛かってくるがあった。
- 当たりがあったらしばらく待つ。ゆっくり3m巻き上げて追い食いを待つ。
- 引きが強いときは、追い食いを狙わず、そのまま巻き上げた。

<終盤>

- 潮が緩くなってきたら、当たりが止まってしまった。

- 大型クーラーボックスを持参した。大きすぎると言われた。
- アジは、生け簀の中で長く元気に泳いでいることから、小アジは生け簀の中で活かしておいて、たくさん釣れたら、リリースするとよい。土産がなければ持ち帰るといのでよい。
- アジすくい網があるとよい。
- 背びれなどのひれが、手袋をとおして手に突き刺さる。
- リールカウンタの水深がずれていることがあるので、底から0mとした方が正確である。